



学生がいつもお世話になっている 大学職員の方にインタビューをしました！



私たちの大学生活を支援して下さる大学職員の方に
お仕事の内容や魅力について語っていただきました！

アドミッションセンター

大学について知りたいなら
まずここへ！

アドミッションセンター
職員

浅田 桃香 さん
伊藤 毅 さん



Q3 最後に、この大学の魅力を教えてください！

A. (伊藤さん) 主体的に頑張る学生には、様々な支援が用意されているのが本学の魅力だと思います。例えば、キャリアセンターでのエントリーシートの添削支援や、WSD※1、CCC※2をはじめとした各教育機関の充実などですね。また、大学理念の「違いを共に生きる」が多くの学生に浸透していることも本学の魅力です！

(浅田さん) 学科や専攻が多いところです。国家資格の取得を目指して専門的な知識を身に付けることができる学科・専攻もあれば、一般企業就職に向けてどんな環境でも役立つ普遍的な力を身に付けることができる学科・専攻もあります。学生それぞれが、自分の将来の夢に向かっていけるような環境が整えられていることが、大学理念の「違いを共に生きる」につながっていると思います。

※1 WSD(ライティングサポートデスク)：日本語文章作成の疑問や悩みの相談窓口

※2 CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)：本学学生が学外のさまざまな地域のコミュニティに能動的に参加交流し、地域の皆さまとともに活動しながら、実践的な生きた知識や技術を学ぶことを支援する教育組織

Q1 アドミッションセンターの仕事内容について教えてください！

A. (伊藤さん) アドミッションセンターでは、大学広報のお仕事をメインで行っています。オープンキャンパスや入学試験の運営をしたり、大学ウェブサイトに受験生応援サイトを作ったりと、仕事は多岐にわたります。

Q2 この仕事をしていて、印象に残っていることは何ですか？

A. (浅田さん) 高校に赴き、本学についての説明会を行った際、終了後のアンケートで「この大学に行きたい!」「興味を持った!」などの感想をいただいたことです。本学は学科や専攻が多いので、限られた時間の中でそれぞれの魅力を簡潔に伝えられるよう心がけています。

キャリアセンター

将来を考えるパートナー！
時には迷える学生の駆け込み寺！

キャリアセンター事務室
室長

堀江 浩 さん



Q2 この仕事の中でやりがいを感じることを教えてください

A. よくある回答のような「学生に感謝されたとき」などではなく、学生が就職活動を満足して終わることが出来たとき、つまり、それまでの経緯において学生の気持ち等に寄り添いながら支援した結果、学生自身が自己の意思で進路(先)を決定してくれたときです。これが現場で毎日学生と接しているアドバイザーの本音です。

Q3 淑徳生に一言お願いします！

A. 社会人としての扉を開くにあたり、職に就き働くことへの不安も多いと思います。早期からの事前準備や情報収集を怠らず、自分に合った働き方、働きたい業界や会社を見極めて選択し、決定した会社なら、これから自分を成長させる可能性や成長を感じられるステージはそこに必ずあります。そう信じて就職活動に取り組んで欲しいです。キャリアセンターは、将来と一緒に考えるパートナー、時には駆け込み寺として皆さんが有効に利用してくれることを期待しています。一人ひとりの特性を見極め、皆さんの意思に寄り添ったきめ細かい支援を行いたいと考えています。

Q1 キャリアセンターの仕事内容を教えてください

A. 本学の学生が、①前に踏み出す力(主体性・働きかけ・実行)、②チームで働く力(発信・傾聴・柔軟・規律性・状況把握・ストレスコントロール)、③考え抜く力(課題発見・計画・想像)などの「社会人基礎力」を習得できるよう、インターンシップ研修などの「アクティブラーニング科目」を実施しています。また、学生各自の個性やニーズに沿って、就職斡旋、キャリアアドバイザーとの個別面談、支援ガイダンス・各種セミナーの企画・運営など、様々なキャリア支援を行っています。

編集後記

交流文化だよりを最後までご覧いただきありがとうございました！
委員会での活動や企画を盛り上げていけるようにメンバー一同頑張っています！
今後の交流文化学会の活躍にご期待ください！

今号は私たちが作りました！

住山 夏海(2年)、神谷 歩美(1年)、水野 紗奈(1年)

交流文化だより

2023.7.18
SUMMER

第20号



愛知淑徳大学交流文化学部 <https://www2.aasa.ac.jp/faculty/koryu/>

編集・発行 交流文化学会 運営委員メンバー



のぐち ようへい
野口 洋平 先生

Q 出身地、誕生日、趣味、特技を教えてください！

A. 千葉県市川市出身で、誕生日は7月9日です。趣味は旅行で、特技は酒のつまみを作ることです。

Q 研究分野、担当授業、研究室を教えてください！

A. 研究分野はホスピタリティ・マネジメントと観光マーケティングです。担当授業は「観光産業3(ツーリズム論)」と「観光産業6(観光マーケティング論)」です。研究室は1号館6階1616教室です。

Q 人生の分岐点を教えてください

A. 大学時代のゼミの先生との出会い、韓国出身の奥さんとの出会いです。

Q どんな大学生でしたか？

A. 友人関係よりも「一人になってもいいから好きなことをしたい」と考える学生でした。また、コツコツ勉強するのが苦手で、頑張ったのは3年生の時だけでした。

Q 大学時代に印象に残っていることを教えてください。

A. 台湾で日本による植民地支配の跡(痕)を感じたこと、インドやヨーロッパでカースト制や価値観の差を目の当たりにしたことなどです。また、さまざまな経験を通じて、組織的、団体的な活動よりも研究のような個人で取り組むことのほうが得意だと気がきました。

Q おすすめの本はありますか？

A. 沢木耕太郎の『深夜特急』です。大学時代をどう過ごすべきか迷っている方、将来海外で仕事をしたい方にお勧めです。

Q 大学生活でやるべきことはなんですか？

A. 長所を見つけて伸ばすこと、仕事で使うことができる英語を身に付けること、価値観が異なる人と出会い交流することだと思います。

Q 淑徳生に一言お願いします！

A. 大学のことを知って大学のことを好きになってください！

新任の先生方にインタビュー



リュウ ジュヨン
柳 朱燕 先生

Q 出身地、誕生日、趣味、特技を教えてください！

A. 韓国ソウル出身で、誕生日は12月12日です。趣味はホットヨガで、特技はピアノです。

Q 研究分野、担当授業、研究室を教えてください！

A. 研究分野は日韓対照言語学と第一・第二言語習得です。対照言語学とは、言語と他の言語を比較して相違点と共通点を見つけ出す言語学の一分野です。また、幼児の母語習得(第一言語習得)と、大人の外国語習得(第二言語習得)も研究しています。担当授業は地域文化4(韓国・朝鮮)、言語文化5(第二言語習得論)、韓国・朝鮮語の語学授業などがあります。ケーススタディ言語8(韓国・朝鮮語と社会)では文学作品や K-POP、映像、ドラマ、映画などを扱ってその背景になる韓国社会を見つめています。研究室は1号館6階1605室です。

Q 人生の分岐点を教えてください

A. 2005年来日したことです。大学を卒業してから5年間、韓国の大手企業で働きました。会社を辞めて日本へ留学を決心した2005年が人生の大きな分岐点になったと思います。

Q どんな大学生でしたか？

A. とても活発な大学生でした。委員会で学生代表になったり、デモに参加したり、農村活動で農作業を手伝ったり、ヨーロッパ1か月バックパッカー旅行やアメリカ留学も経験しました。学生生活はとても充実して楽しかったです。

Q おすすめの本はありますか？

A. ハ・ワンの『하마터면 열심히 살 뻔했다(あやうく一生懸命生きてきたところだった)』です。「人生は100%が自分の努力した結果ではなく、努力しなかったから失敗したわけではない。他人の目を気にせず、自分らしく、頑張りすぎずに生きることが大事」という内容の本です。日本語訳も出版されているので、ぜひ読んでみてください！

Q 大学生活でやるべきことはなんですか？

A. 皆さんにとって今は青春だから可能性に満ち溢れていて、なんでも挑戦できると言われているでしょう。それがまた辛いどころですね。大学生のうちには自分が何が好きで、何の仕事をする時に夢中になっているか、一生をかけて付き合いたい職業は何か、自分をちゃんと理解することが大切だと思います。

Q 淑徳生に一言お願いします！

A. 大学生活で多くの経験をして、自分の道を探しましょう！

交流文化学会が新体制になりました！

交流文化学会では、2023年4月から新体制が始まりました。
交流文化学会運営委員会の学生代表および各委員会の委員長の方々にインタビューをしました。



交流文化学会運営委員会
学生代表

西尾 朋輝 さん

Q1 Platform という理念に込められた意味は何ですか？

A. みんなのやりたいことができる組織を作りたいと考えたからです。中でも、意見の共有を積極的にできる環境であるかを意識して取り組んでいます。学会のメンバーが挑戦したい事を自ら考え提案し、運営することで学びや経験に繋いでいけるよう、私自身もサポートしていきます！

Q2 交流文化学会のこれからの目標は何ですか？

A. 執行部とサポートチームのメンバー全員が同じマインドを持って活動することです。学年や役割関係なく、お互いをリスペクトすることを忘れずに成長していきたいです！



国際交流委員会
委員長

小澤 彩香 さん

Q1 活動内容を教えてください。

A. 留学生と交流したり、様々な国際問題に触れたり、異文化や世界の現像などに対する理解と認識を深めていけるような活動をしています。

Q2 どのようなイベントを開催されていますか？

A. 昨年は、日本語を学んでいる留学生を対象に名古屋観光をしました。今学期は名古屋在住のアフガニスタン難民の方をお招きして講演会を開催しました。その他にも、様々なグローバルな機会を設けて活動していくつもりです。



広報委員会
委員長

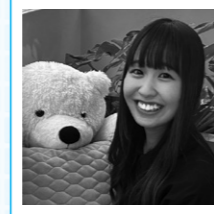
住山 夏海 さん

Q1 活動内容を教えてください。

A. 年に二回発行される「交流文化だより」の作成や、交流文化学会のInstagram更新が主な仕事です。交流文化学会のInstagramをフォローしていないアナタ！フォローお待ちしております！

Q2 最後に一言お願いします！

A. 交流文化だよりをご覧いただきありがとうございます！新体制になった交流文化学会について多くの人に知ってもらえるように活動してまいります！



ホスピタリティ委員会
委員長

今井 美羽 さん

Q1 活動内容を教えてください。

A. エアライン、ホテルをはじめとした、ホスピタリティ業界にかかわる様々なイベントを企画しています。これまで、パイロットやホテルレストランの支配人の方をお招きして講演イベントを行ってきました。どのイベントも、仲間たちの希望や、興味関心をもとに、先生方のサポートをいただきながら作り上げています。

Q2 6月1日に開催された講演会は、どのようなイベントでしたか？

A. 名古屋 JRゲートタワーホテルのレストラン THE GATEHOUSEより、支配人の松本大輝さんをお招きして、講演をしていただきました。企業の魅力や、お仕事について、サービスに必要な5つの質について教えていただきました。たくさんの方のご協力により、とても素敵なイベントになりました。ありがとうございました！



地域貢献委員会
委員長

足立 歩乃花 さん

Q1 主な活動内容を教えてください。

A. 大学周辺のごみ拾いを主に活動しています。ですが、まだまだ本格的に実施できていないので、今年度中には定期的に行えるようにしたいと考えています。それと名前の通り、地域に貢献できるような企画を考え中です。

Q2 どのような人になってほしいですか？

A. 地域に携わりたい思いがある人大歓迎です！「地域貢献ってなに？」という疑問を持っている方でも、私たちと一緒に考えていきましょう！地域について少しでも興味のある人、お待ちしております！

サポートチーム

交流文化学会には入りたくないけど忙しくて委員会には所属できないかも…そんなアナタ！今年度から新設された「サポートチーム」に加入してみませんか？時間のある時にイベントに顔を出しに行ったり、委員会の仕事を手伝ったりなど、活動の幅が広がりますヨ！興味のある方は公式 Instagram のDMからご連絡ください！

交流文化学会 公式 Instagram を 開設しました！

イベント情報などを
更新しています。

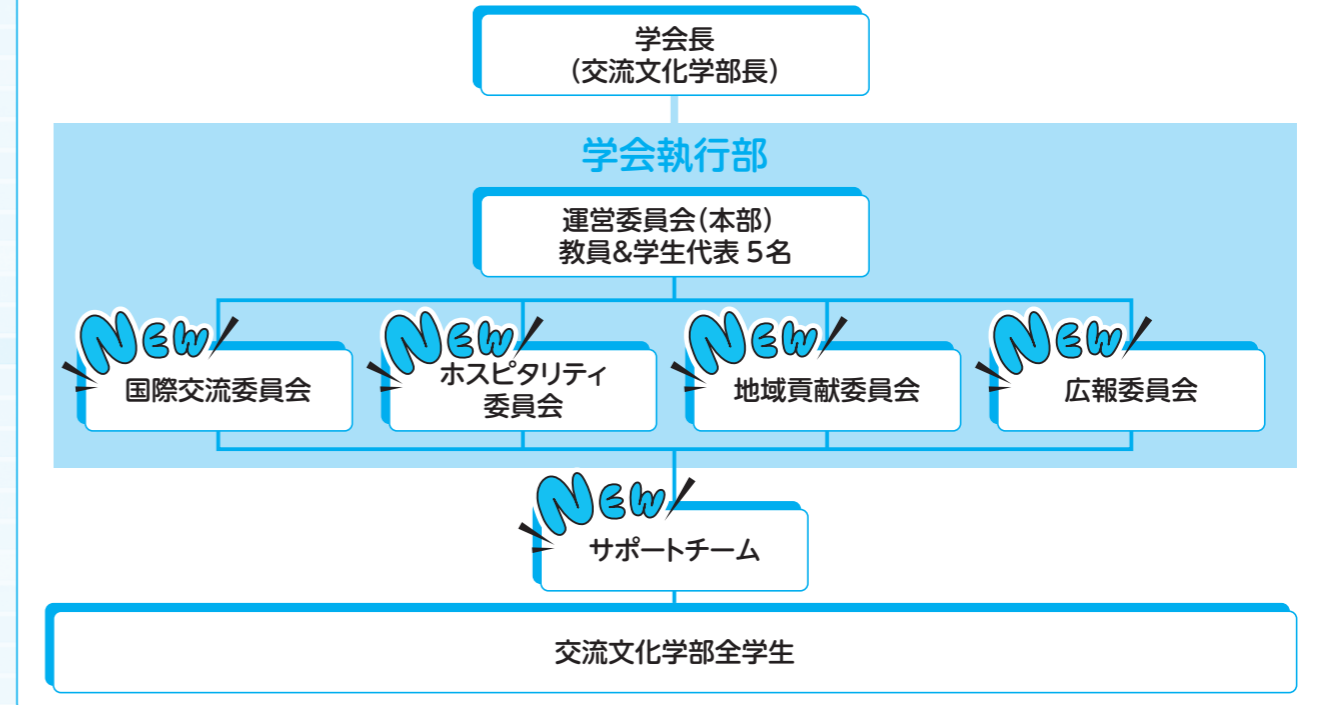


KOURYU_GAKKAI

新委員会&新制度誕生！ 交流文化学会について知ろう！

交流文化学会についてみなさんはどのくらい知っていますか？
組織図やイベントレポートを見て、もっと交流文化学会を知ってください！

学会の組織図(2023年度)



イベントレポート

今回は、4月に開催された新入生ガイダンスと、6月に開催された講演会について紹介します！

新入生ガイダンス

2023年4月5日の新入生ガイダンスで、上級生と新入生の交流会を行いました。交流会では、新入生同士のアイスブレイクを兼ねたゲームや、キャンパス内クイズラリー、上級生への質問コーナーなどの企画を実施しました。キャンパス内クイズラリーでは迷子になるグループが続出しましたが、チームプレイで何とかゴール！両専攻(国際交流・観光専攻、ランゲージ専攻)を一緒にしてグループを作ったので、専攻の垣根を越えて仲を深めることができました。上級生への質問コーナーでは、私生活、勉強、サークル、バイトに関する質問で大盛り上がり！新入生は入学直後で緊張や不安もあったと思いますが、このイベントで少しでも払拭されていたらとても嬉しいです。



ホテルレストラン支配人による講演会

2023年6月1日に、JRゲートタワーホテルのレストラン THE GATEHOUSE 支配人の松本大輝さんをお招きして、ホスピタリティに関する講演会を開催しました。仕事内容や企業の魅力、業務中のエピソードだけでなく、サービスにおいて大切なコミュニケーションのトレーニングを簡単なゲームを用いて行いました。正確なコミュニケーションの難しさや、笑顔の重要性を学ぶことができました。たくさんの方にご参加いただき、とても素敵なイベントになりました。参加して下さった皆さん、ありがとうございました！

